

# 地域医療 研修到達目標（必修）

## 1. 特徴

地域医療研修は、都市部の医療とへき地や離島における医療の違いを体験し、地域医療の現状や課題を理解することを目標としている。協力病院においては指導医のサポートのもと、自ら判断力や責任感を持って業務を遂行することが求められる。

## 2. ねらい

地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。

## 3. 一般目標

- 1) 患者が生活する地域の特性と社会的背景を理解し、それらに配慮した医療を提供することができる
- 2) 患者や家族に対して、医療情報をわかりやすく説明できる
- 3) 患者のプライバシーを尊重し、個人情報適切に管理できる
- 4) 患者の訴えに対して真摯に向き合い、良好な患者-医師関係を構築できる
- 5) 研修する医療機関のスタッフとのコミュニケーションを円滑に行い、良好な人間関係を構築できる
- 6) 健康の社会決定要因 Social Determinant of Health（SDH）に関する知識を身につけ、地域住民の健康を改善するためのアプローチを理解できる
- 7) 地域包括ケアの概念と枠組みについて理解し、地域の医療資源を有効に活用することができる
- 8) 介護保険について理解し、利用できるサービスの概要について説明できる
- 9) 訪問診療について理解し、地域医療における診療の在り方を理解できる

## 4. 研修方略

協力施設で指導医と共に診療にあたる

- 1) 研修期間は原則、月初めより月末までの4週  
診療所（クリニック）の場合は1施設2週間で2施設の研修も可能
- 2) 協力施設は八王子市医師会の医療機関17施設、離島・僻地の医療機関4施設  
（169ページ「臨床研修協力施設一覧」を参照）
- 3) 研修内容
  - (1) 慢性期・回復期の病棟を含めた病棟で研修を行う
  - (2) 慢性疾患の診療を含む一般外来での研修を行う
  - (3) 訪問診療に同行し、在宅医療を経験する
  - (4) 地域連携カンファランスや多職種合同カンファランスに参加する
  - (5) 診療情報提供書や訪問看護指示書、主治医意見書などの文書作成にかかわる

## 5. 研修評価

- 1) 自己評価：PG-EPOCを用いて自己評価を行う  
（症候、疾病・病態の経験についてはPG-EPOCにて確認を行う）
- 2) 指導医による評価：PG-EPOCを用いて研修医を評価する（紙書式の提出も可）  
（症候、疾病・病態の経験については症例レポートにて確認を行う）

3) 研修医による研修体制評価：PG-EPOC を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

## 6. 指導体制（研修実施責任者）

	医療機関名	研修実施責任者
1	清智会記念病院	佐藤 嘉伯
2	右田病院	右田 隆之
3	八王子内科・消化器内科クリニック	金崎 峰雄
4	仁和会記念病院	諸橋 彰
5	御殿山クリニック	工藤 樹彦
6	富士森内科クリニック	清川 重人
7	いしづか内科クリニック	石塚 太一
8	南多摩病院	益子 邦洋
9	八王子山王病院	壽美 哲生
10	太田医院	太田 ルシヤ
11	のま小児科	野間 清司
12	さんあい介護医療院	小野 真一
13	加藤醫院	加藤 直樹
14	白鳥内科医院	白鳥 泰正
15	勝田医院	勝田 真行
16	おなかクリニック	村井 隆三
17	聖隷クリニック南大沢	宮城島 正行
18	大島医療センター	清水 忠典
19	南部町医療センター	石田 哲平
20	屋久島徳洲会病院	山本 晃司
21	広域紋別病院	曾ヶ端 克哉

## 地域医療 研修到達目標（選択）

地域医療研修の選択4週は、より深い理解と経験を得るための貴重な機会です。必修研修における目標に加え以下の内容を学んでください。

### 1) 地域医療の現状把握

地域医療の現状をより詳しく理解し、地域医療の課題やニーズを把握する。

### 2) 地域の人々とのコミュニケーション能力の向上

地域の人々とのコミュニケーションを取り、地域の人々の健康に関するニーズに対応するために、コミュニケーション能力を向上させる。

### 3) 地域包括ケアについての理解

地域包括ケアについてより深く理解し、地域においてどのような役割を果たしているか把握する。

### 4) 緊急医療体制の習得

地域医療においては、緊急時には近隣病院との連携が求められます。緊急医療体制の習得を通じて、地域医療における緊急医療の役割を理解し、適切な対応を学ぶ。

(1) 地域包括ケアの概念と枠組みについて理解し、地域の医療資源を有効に活用することができる

(2) 介護保険について理解し、利用できるサービスの概要について説明できる

(3) 訪問診療について理解し、地域医療における診療の在り方を理解できる

※研修期間は必修と合わせて12週を上限とする。

※特徴・ねらい・一般目標・研修評価・指導体制は必修と同様